

清水 一輝 リハビリテーション学科作業療法学専攻 助教

学位

修士（リハビリテーション科学）

職歴

2007. 4 医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院

2013. 12 医療法人財団善常会 老人保健施設シルピス大磯

2015. 4 医療法人マックス すこやかクリニック

2017. 4 愛知医療学院短期大学リハビリテーション学科作業療法専攻 助教

研究分野

人間医工学，社会医学，作業科学

免許

作業療法士

論文

- ・ 清水一輝：障害を有する高齢者はどのように生活圏を拡大するのか-複線径路・等至点アプローチ（TEA）による分析-愛知医療学院短期大学紀要 第10号, 2019.3
- ・ 清水一輝：回復期リハビリテーション病棟におけるクライアントにとって意味のある作業に焦点を当てた実践の現状と課題：愛知医療学院短期大学紀要 第9号、2018.3

学会発表

- ・ 須藤梨佳、清水一輝：障害者はどのようにスポーツと結びつき継続しているのか-複線経路・等至性モデルを用いた分析-：第19回東海北陸作業療法学会 浜松, 2019.11
- ・ 清水一輝、港美雪、堀部恭代：「これなら働ける」を応援する地域づくり - 精神障害を有する人に対する就労支援の新しい枠組み-：第26回職業リハビリテーション研究・実践発表会, 2018.11
- ・ 清水一輝、飯田光、白岩正寛：地域に住む障害を有する高齢者はどのように生活圏を拡大するのか：第38回全国デイケア研究大会 inつくば, 2018.7
- ・ 港美雪、堀部恭代、清水一輝他：仕事のシェアリングはどのように維持・促進されるのか-誰もが住民とともに働く機会のある”インクルーシブ就労”への転換に向けて-：第21回作業科学セミナー, 2017.11
- ・ 清水一輝：作業の行い方を支援することで自分らしい作業の獲得へ繋がった事例：第19回作業科学セミナー, 2015.11 浜松
- ・ 清水一輝、宮前珠子：回復期リハビリテーション病棟におけるクライアントにとって意味のある作業に焦点を当てた実践の現状と課題：第49回作業療法学会, 2015.6 兵庫
- ・ 清水一輝：環境を整えることで作業維持できるようになった事例-実践によるクライアントの変化と今後の課題-, 第2回臨床作業療法学会, 2015.2 沖縄

- 清水一輝：作業選択意思決定支援ソフト（ADOC）を使用することが作業療法士の実践や意識に与える影響，第16回世界作業療法士連盟大会 第48回日本作業療法学会，2014.6 横浜
- 清水一輝：訪問リハとの連携によりクライアントにとって大切な作業が可能になった事例，第1回日本臨床作業療法学会，2014.3 神奈川
- 清水一輝，清水裕美，中村久美子，段直樹：お菓子作りで入院患者に楽しみの場を提供できるか，第21回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会，2015.3 金沢
- 清水一輝，石井由貴子：更衣は活動の意欲向上に繋がるのか-患者への面接からわかったこと-，リハビリテーション・ケア合同研究大会2010，2010.10 山形
- 清水一輝，山内正美，石井由貴子：患者の希望をどう受け止めるのかに悩んだ経験-カナダ作業遂行測定（COPM）を使用して-，リハビリテーション・ケア合同研究大会2009，2009.10 広島